

ストリングのいろいろ ～基礎知識編～

張替えのタイミング

週1回程度のプレーではストリングが切れるということはありません。で、ついつい張り替えしないでそのまま使ってしまうものです。しかし、ストリングというのはボールを打つときの衝撃でテンションは徐々に落ちてきてしまいます。また、極端な話、ストリングを張った瞬間からラケットを使っていなくてもテンションは徐々に落ちてきてしまいます。テンションが落ちてくると、ストリングの弾力性が失われてくるため、ボールをしっかりとスイートスポットで捉えたとしても、コントロールできなくなります。また、打球感も張り上げ当初のような快適な打球感はなくなり、反発性(飛び)も落ちます。これらのことから、ストリングが切れていなくても、ある程度の周期季節で張り替えることをお勧めします。

ストリングを張る強さ

◆ラケットを張り上げる強さのことをテンションといいます。同じラケット・ストリングでも全く違うラケットのように仕上がります。(下図参照)

◆それでは、自分にあったテンションとは…?

あります。

詳しくはコーチまで!!

同じテンションでも…

◆同じ商品名のラケットで面の大きさの違うラケットを同じテンションで仕上げた場合、小さいサイズの方が硬く仕上がります。(ストリングを通す穴の間隔が狭くなるので。)

◆また、季節によりその仕上がりも違います。夏は気温が高いため、ストリングがやわらかくなります。逆に冬場は硬くなります。

低	テンション	高
飛ぶ	飛び	飛ばない
高	コントロール	低
柔	打感	硬
少	振動	多